行 平 省 平条成令国財 成件二第 二次年 号 行 示 年の七一等 月第に二 月お十五関百 五り六条す六 日告日第る十 示に十省六 る行項(。しの昭 た規和 利 定 五 付に十 国 基 七

債づ年

のき大 発 、 蔵

及 び 記 債 財 五 臣 年 佳 +九

の法発号名 条 律 行 項及の び 根 そ 拠

をよ各札利格同発に札価機適下へ社及律会第に営平回利 そり申に率競時行よ、格関用「平債び第計七関の成)付

項法別律等運

法 \mathcal{O} 適

等 替

用振

兀

発

行

方

法

二年度における財政法律(平成二十二年度における財政法律(平成二十二年法律))。)。 よ格にた入た価と札。入 替の以律

六

口

五.

入 価 行 争 非 者 特 国 札 非 札格行 入価 · 別債発競 札格 札格第参市行争 発 競 発 競

行 争 額 発 競 I 加 場 入

を囲別

行 争

はづ律五兆国項特財う額 、き第万千債の例政ち面

込募各割各当も各と加よと大時とる み限国り申ての申

の度債当込るか込う・発応が行う行 応額市てみ。らみ

募の場るの

案

その

額範特。応のう

額 募応

額募 を価

順格

りに加

申 応

割内参

百に規関八金し二のに十

四つ定す百額た条発お四 十いにる九で利第行け億

六て基法十一付一のる円

額発四円二に規等運、金

面行十、百つ定に営平額

金し六特七いに関の成で

額た条一十て基すた二二

で 利 第 九 は づ る め 十 兆 九 付 一 億 、 き 法 の 二 二

千国項 三額発律公年千

四債のに千面行第債度二

次の 割高 り りい

I(限国れ、以

。第行募各わらへ

い者るに臣にい発

+	九	八											七															
								ハ		口		1							ハ				口					
発	振 額	最											払															
	替	低	行	争	非	者	特	玉	札	非	入	価	込	行	争	非	者	特	玉			札	非					
行	_	額		入	価	•	別	債	発	競	札	格										発	競					
	単	面	7	札	格	第	参	市	行	争	発	競	金		札	格	第	参	市			行	争					
日	位	金		発	競	I	加	場		入	行	争	額		発	競	I	加	場				入					
								_	_										41	_			41			,_		
平す額の		五.							円		八															行		
成るの記		万						九		七		兆				千	利	第	別	+	利	第	別	八	金	L	_	九
二。整載	法	円						百		億	円	<u> </u>				九	付	_	会	七	付	_	会	+	額	た	条	千
十 数又	\mathcal{O}							五.		八		千				百	玉	項	計	億	玉	項	計	五.	で	利	第	八
二 倍は	規							+		千		六				兀	債	\bigcirc	に	八	債	\bigcirc	に	万	千	付	_	百
年 の記	定							億		六		+				+	に	規	関	千	に	規	関	円	<u> </u>	玉	項	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$
七 金録	12							五.		百		兀				七	つ	定	す	三	つ	定	す		百	債	\mathcal{O}	+
月 額は	よ							千		$\stackrel{-}{-}$		億				億	٧,	に	る	百	٧١	に	る		九	に	規	万
+ 12 \	る							兀		+		$\vec{\underline{}}$				円	て	基	法	万	て	基	法		+	つ	定	円
六よ最	振							+		万		千					`	づ	律	円	`	づ	律		七	٧V	に	`
日る低	替							六		九		九					額	き	第		額	き	第		億	て	基	同
も額	口							万		千		百					面	発	兀		面	発	四		六	は	づ	法
の面	座							円		兀		六					金	行	+		金	行	+		千	`	き	第
と金	簿									百		+					額	L	六		額	L	六		\equiv	額	発	六

+ + 三 二

イー 口

+

の経利発競I加場び札非入価発 行 争 非 者 特 国 発 競 札 格 行 入 価 · 別 債 行 争 発 競 価 込 利 み子率 札格第参市及入行争格

(一) 年

面上面

額以額

む十式は〇 も 号 に ` 募 ・

金の金 額そ額

のによ払入四 と規り込決パ す定算金定1

百れ百 円ぞ円

るす出額のセ 。るしに通ン 期た加知ト

にれに つのつ

円価円

+ 格十

銭

七

銭

き 応 き 百 募 百

に額、受 払を次け

日金えを

い第のた

込二算者

は出に住時額金にの口るに 外しは者に、額よに座も係発 国た、又おたにりつにのる行 法金前はいだ百算い記と所時 人額記外てし分出て載し得に がに一国取、のしは又て税お 適当の法得当二た、は振がい 用該算人す該十金前記替源で を非式でる国を額記録口泉、 受居にあ者債乗か一さ座徴~ け住よるがをじらのれ簿収の る者り場非発た当算る中さ利 所又算合居行金該式ものれ子

+ +++ +九八七六 五 払者入払元償償 後第 札場利還還 O $\stackrel{-}{\Box}$ 込 参所金金期 利期 期 加 支額限 子 以 日 平 日額平るい日毎 財 務 本面成利てを年 成 銀金二子、支六 大 行額十をそ払月 臣 +百七支の期二 カュ ら 円年払日と十 年 に六う以し日 七 通 つ月。前、及 月 き二 六各び +を 六 受 百十月支十 間払二 日 け 円日 た に期月 属に二 すお十

+

兀

初

期

利

子

規下は払し払平

定、、期た期成整得

す次そが金と二除税

る号の銀額し十ずの

期及翌行を、二る税

日び営休支次年ご率

に第業業払の十とを

つ十日日う算二が乗

い六にに。式月でじ

て号支当たに二きた

同 に 払 た だ よ 十 じ お う る し り 日

て以き支出支